

p.11 ● 顔色は同化するように見える の 1 行目

<訂正前>

モジュール 1 では「対比」について学びました。これは、2 色の違いを見分けようとする心理的な現象です。

<訂正後>

モジュール 1 では「対比」と「同化」について学びました。「対比」は、2 色の違いを見分けようとする心理的な現象です。

p.18 パーソナルカラーにおける色の属性
「属性の性質」の下、表内 1 行目

<訂正前>

色相：赤、黄、緑、青、紫といった色みのこと。

<訂正後>

色相：赤、**橙**、黄、緑、青、紫といった色みのこと。

p.25 瞳キラキラ、目力を UP

パーツが際立ち シャープな印象を演出 の説明文の訂正と、写真下 [After] の明度のスケールを調整

<訂正前>

低明度は陰影が出て輪郭や顔立ちがくっきりします。それに高彩度・清色の強さと透明感が加わり、肌のツヤとともに表情にも輝きが増して見えます。ブルーベースの色ならさらにクールな強さが加わります。

<訂正後>

高彩度・清色によって強さと透明感がでて、肌のツヤとともに表情や瞳に輝きが増して見えます。さらに低明度の色によって陰影が出て、顔立ちがくっきりし、瞳と白目のコントラストが際立ちます。ブルーベースの色なら、さらにクールな強さが加わります。

[After]

明度：高 ————— ● 低

[After]

明度：高 ————— ● 低

p.26 ぐっと華やかに

下から 4 行目～ の文訂正と 図の訂正

<訂正前>

イエローベースの属性を重ねることで健康的な血色も・・・



<訂正後>

イエローベースの色相を重ねると、さらに健康的な血色も・・・



※華やかさのイメージの演出のみの場合は、彩度だけが関連しているため、図を訂正。

p.44 光源 の 2 行目、4 行目

一般的に、自然光源は「太陽光」「恒星」など自然にある自ら発光する光を指し、・・・
ここでは、主に人工光源について学びます。

一般的に、自然光源は**主に「太陽光」**のことで自然にある自ら発光する光を指し、・・・
ここでは、**パーソナルカラーで重要な**人工光源について学びます。

p.44 ●光源の性質の違いによって色の見え方は変わる
の最後に以下の説明を追記

※照明光：光源からの光のこと。

照 明：対象物や人、場所に光を当てて明るくすること。広くは、光源からの光のこと。

p.59 ●フォカマイユ配色

以下 2 つの配色例を、色相差がわかりやすいように訂正。 ※訂正前の配色もフォカマイユ配色です。

<訂正前>



<訂正後>



p.76 春のコーディネート



の 2 行目と 4-5 行目

<訂正前>

低い色（特に・・・

セレクトすることにより、落ち着いた印象になります。

<訂正後>

低めの色（特に・・・

セレクトすることにより、落ち着いて**クラシックな**印象になります。

p.79 冬のコーディネート



の 4 行目

<訂正前>

色で優しく繊細な印象になります。

<訂正後>

色で優しく**繊細（デリケート）**な印象になります。

p.23 属性の複合的な効果の活用 のページを以下の通り、差し替えをお願い申し上げます。

属性の複合的な効果の活用

● 各属性の組み合わせがどのような効果につながるかを理解する

ここまで各属性の効果が顔の見え方にどのような影響を与えるかを学んできました。
パーソナルカラーでは、色を用いて演出したいイメージを実現するにはどの属性の効果を用いればよいかに
ついて理解しておくことが重要です。また実際に色を扱う場面では、明度や彩度など単一の属性による印象・顔
の見え方への効果をふまえた上で、2 つ以上の属性の組み合わせが顔の見え方に与える変化も理解すると、
より幅広いイメージを演出することができます。この単元では、複数の属性の組み合わせによるイメージの演
出についても学んでいきます。

● になりたい自分を演出する

まずは、1 つずつの属性による見え方を整理します。
右の写真は「白く透明感のあるツヤ肌と、華やかでシャープな印象」
をメイクとファッションとで演出した例です。ブルーベースのメイク
で顔色を白く透明感のある肌に見せます。さらに清色を重ねること
で、より透明感が強調され「白く透明感のあるツヤ肌」になります。
ファッションでは、低明度の黒いボトムでシャープに見える効果が
あります。
さらに、高明度の白いシャツと低明度のボトムとの明度差によってコ
ントラストが出て、よりシャープな印象が強調されます。ボトムの柄
の彩度が高めの色によって、華やかさが生まれています。
このように、メイクやファッションの色の四属性の効果を整理し、次
の学びに進んでいきましょう。

色相	ブルーベース	白さ・透明感
明度	高明度と低明度のコントラスト	よりシャープに
彩度	高彩度	華やか
清濁	清色	ツヤ肌

この後、p.24 ～ 27 では、演出したい印象をどのような属性を用い
て生み出せばよいのかについて学びます。
4 つの属性を複合的に重ね合わせることで、より幅広い印象の変化
を演出することができます。モデルが着用したTシャツの色の属性と
その効果を検証していきましょう。

